

令和元年度、令和2年度 HIV/AIDS研修 講習会等実施状況

資料6

研修 講習会名	目的 対象	実施内容	参加者数
症例懇話会	最新のエイズ診療の状況、エイズ診療経験の共有化、また、臨床医などの医療従事者のネットワークづくりに役立つ情報を学ぶ。 <b>【対象】</b> 医師、歯科医師、看護師、薬剤師等 ※令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により中止	令和元年10月24日 <HIV感染症と抗酸菌症> 座長 :東京慈恵会医科大学附属病院 感染制御科 堀野 哲也 氏 1) CD4 95/μLで抗HIV療法の開始後にM. aviumの免疫再構築症候群を起こした1例 講師 :東京慈恵会医科大学 感染制御科 澤木 賢司 氏 2) 当院での結核合併HIV感染症症例 講師 :東京慈恵会医科大学 感染制御科 宮島 真希子 氏 特別講演 HIV感染症と結核 講師 独立行政法人国立病院機構 東京病院 呼吸器内科 永井 英明 氏 総評)東京慈恵会医科大学 感染制御科 教授 堀 誠治 氏	62名
		令和元年11月2日 <HIV陽性者の長期療養支援 -外国人陽性者支援を中心に-> ① 講義 ア) HIV感染症と長期療養」 講師 がん 感染症センター都立駒込病院 感染症科部長 今村 顕史 氏 イ) HIV陽性者の地域療養支援」 講師 特定非営利活動法人ぶれいす東京 代表 生島 嗣 氏 / HIV陽性者 当事者) ウ) エイズ中核拠点病院におけるHIV陽性者への療養支援の現状と課題」 講師 がん 感染症センター都立駒込病院 医事課医療相談担当 小嶋 道子 氏 エ) 東京都におけるHIV感染症等に関する外国人対応について」 講師 :東京都福祉保健局健康安全部エイズ 新興感染症担当課長 根岸 潤 ②) パネルディスカッション HIV外国人陽性者の療養支援」 ア) HIV外国人陽性者への現状と課題」 講師 港町診療所 院長 沢田 貴志 氏 イ) 外国人へのHIV検査の支援体制と課題」 講師 :新宿区保健所 保健予防課 鈴木 裕子 氏 ウ) HIV外国人陽性者の心理的サポート」 講師 :東京都福祉保健局エイズ専門相談員 宮島 謙介 氏 エ) HIV外国人陽性者への地域での支援と連携」 講師① 特定非営利活動法人ぶれいす東京 代表 生島 嗣 氏 講師② 特定非営利活動法人シェア＝国際保健協力市民の会 廣野 富美子 氏 ③) 総合討論 HIV陽性者の療養支援の課題」 座長 がん 感染症センター都立駒込病院 感染症科部長 今村 顕史 氏	35名
		令和2年1月23日 <服薬継続における精神・心理的課題とその支援> 座長 慶應義塾大学病院 感染制御部 教授 長谷川 直樹 氏 ① 東京都HIV・ADSの動向」 講師 :東京都福祉保健局健康安全部エイズ 新興感染症担当課長 根岸 潤 ② 当院で経験した服薬困難を克服した1事例」 講師 慶應義塾大学病院 感染症外来 HIV専門看護師 戸蒔 祐子 氏 コメンテーター 慶應義塾大学病院 薬剤部 HIV感染症薬物療法認定薬剤師 西松 直美 氏 慶應義塾大学医学部 感染症学教室 臨床心理士 矢永 由里子 氏 新宿区落合保健センター 保健サービス係 保健師 和山 郁美 氏 ③ HIV患者さんの治療アドヒアランスに関与する精神・行動的問題の診方」 講師 慶應義塾大学医学部 医療安全管理部/精神 神経科 准教授 藤澤 大介 氏 ④ 総合討論」 講師 慶應義塾大学病院 感染制御部 教授 長谷川 直樹 氏	57名

研修 講習会名	目的 対象	実施内容	参加者数
H M医療従事者向け講習会	<p>一般医療機関において、H M医療に携わる医療従事者が具体的な対応や取組、精神科等専門機関との連携のあり方を考える一助とする。</p> <p><b>【対象】</b> 都内の病院、診療所の医師、その他医療関係者</p> <p><b>※令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により中止</b></p>	<p>令和元年11月8日</p> <p>〈見落とさないH M感染症 梅毒～早期発見のために～〉 共催 :公益社団法人東京都医師会)</p> <p>(1)見落とさないH M感染症 梅毒 講師 :がん 感染症センター都立駒込病院感染症科部長 今村 顕史 氏</p> <p>(2)H M検査の勧め方と告知時のポイント 講師 :荻窪病院 血液凝固科カウンセラー 小島 賢一 氏</p> <p>(3)陽性者への相談 講師 :東京都エイズ専門相談員 神谷 昌枝 氏</p>	42名
		<p>令和2年1月9日</p> <p>〈身近な地域で透析医療を受けるために～H M陽性者の療養支援～〉 共催 :東京都透析医会)</p> <p>(1)H M感染症・H M陽性者の透析医療について 講師 :国立国際医療研究センター 腎臓内科診療科長 腎臓内科医長 血液浄化室医長 日ノ下 文彦 氏</p> <p>(2)地域の医療機関の取組-H M感染者の維持透析 - 講師 :須田クリニック 院長 須田 昭夫 氏</p>	57名
エイズ診療従事者臨床研修(歯科)	<p>知識 技能を習得し、感染者の歯科診療の推進を図ることを目的とする。実際のエイズ歯科治療に役立つ実践的な感染予防、口腔内所見等を学ぶ。</p> <p><b>【対象】</b> 歯科医師、歯科衛生士、看護師</p> <p><b>※令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により中止</b></p>	<p>令和元年12月9日～10日、令和2年1月20日～21日 東京歯科大学水道橋病院</p> <p>講義) 「感染予防対策(スタンダードプリコーション、器具の消毒、滅菌など) H M感染者に合併する特徴的口腔内所見や病変 H M感染症の基本的事項</p>	11名
		<p>令和元年10月16日、令和元年11月15日 東京医科歯科大学歯学部附属病院</p> <p>見学) 「外来診察室 専門外来等の施設、ディスプレイ製品の活用) H M等感染症患者診療の実際</p>	12名
		<p>令和元年12月5日 東京医科大学病院</p>	4名
		<p>令和2年1月28日 都立駒込病院</p>	5名
歯科医療従事者講習会	<p>エイズに対する知識の向上を図り、患者及び感染者の歯科医療体制の確保を図ることを目的とする。エイズの現状、患者 感染者の歯科へのニーズ、医科との連携等を学ぶ。</p> <p><b>【対象】</b> 歯科医師、歯科衛生士等</p> <p><b>※令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により中止</b></p>	<p>令和元年9月25日</p> <p>〈感染症の現状と歯科の対応〉</p> <p>1)H M/A D Sの理解とH M陽性者への支援 ～共に生きるために～ 講師 :ライフ エイズ・プロジェクト代表、東日本国際大学 准教授、社会福祉士 清水 茂徳 氏</p> <p>2)パネルディスカッション 座長 :協力歯科医療機関 澤歯科医院 院長 澤 悦夫 氏</p>	24名
		<p>令和2年1月30日</p> <p>〈感染症の現状と歯科の対応〉</p> <p>1) 口腔粘膜疾患を見逃さないために「知っておくべきこと!」 講師 :日本大学歯学部口腔外科学講座 教授 金子 忠良 氏</p> <p>2) 歯科を取り巻くH M/A D S 感染症の今、これから ～基礎から在宅療養対策まで～ 講師 :一般社団法人 東京都新宿区歯科医師会 会長、協力歯科医療機関 エビナ歯科医院 院長 蛭名 勝之 氏</p>	48名
医療従事者向け梅毒研修	<p>梅毒感染者が受診する可能性が高い都内の内科や皮膚科等の医療従事者向けに、診療に必要な知識や情報が得られる研修を実施し、早期診断 治療を受けられる体制の充実を図る。</p> <p><b>【対象】</b> 都内医療機関の内科 皮膚科等の医療従事者</p> <p><b>※令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により中止</b></p>	<p>令和元年9月24日</p> <p>〈梅毒患者を見逃さないために ～診断のポイントと治療の要点～〉</p> <p>講師 :東京慈恵会医科大学皮膚科学講座 教授 石地 尚興 氏</p>	49名
		<p>令和元年10月5日</p> <p>〈女性の梅毒患者と先天梅毒 ～都内の調査と全国調査から見えてくるもの～〉</p> <p>講師 :日本大学医学部産婦人科学系産婦人科学分野 川名 敬 氏</p>	67名
		<p>令和元年10月11日</p> <p>〈梅毒患者を見逃さないために ～口腔咽頭症状で発症する梅毒の診断のポイント～〉</p> <p>講師 :東京女子医大東医療センター耳鼻咽喉科 耳鼻咽喉科 准教授 余田 敬子 氏</p>	42名
		<p>令和元年11月7日</p> <p>〈若い女性患者が急増! ～梅毒の臨床現場～〉</p> <p>講師 :プライベートケアクリニック東京 院長 尾上 泰彦 氏</p>	48名
		<p>令和2年1月16日</p> <p>〈今、知っておきたい梅毒とH M/エイズの最新情報 -現場で役立つ診療のポイント-〉</p> <p>講師 :がん 感染症センター都立駒込病院 感染症科部長 今村 顕史 氏</p>	81名
<p>平成2年2月14日</p> <p>〈若い女性患者が急増! ～梅毒の臨床現場～〉</p> <p>講師 :プライベートケアクリニック東京 院長 尾上 泰彦 氏</p>	37名		

研修・講習会名	目的・対象	実施内容	参加者数
<b>エイズ・ボランティア講習会</b> 東京エイズ相談連絡会)	予防啓発やHIV陽性者支援に取り組むボランティアを対象に、現場で必要な資質の向上を図る。また、ボランティア団体間の相談連絡会を通して情報交換を行う等、連携を推進する機会を確保する。	令和元年7月9日 HIV/エイズ予防の新しい選択肢「PrEP」ってなに？ SH外来の取り組みとアンケートからみる日本のMSMの現状や課題 講師：国立研究開発法人 国立国際医療研究センター エイズ治療・研究開発センター（ACC） 医師 水島大輔 氏 特定非営利活動法人 ぶれいす東京 代表 生島 嗣 氏	27名
	<b>【対象】</b> 予防啓発やHIV陽性者支援に取り組むボランティア等	令和元年9月18日 性教育の流れと現状 ～LGBTとHIVの視点から～ 講師：特定非営利活動法人 ぶれいす東京 理事 池上 千寿子 氏	27名
	<b>※令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により中止</b>	令和元年12月19日 外国人とHIV医療～新しい在留資格の創設の中で過去 未来を考える」 講師：港町診療所 所長 沢田 貴志 氏	14名
		令和2年2月27日 HIVは感染しないってホント？U=U時代のHIV陽性者の現状 講師：U=U Japan Project 代表 井上 洋士 氏	11名
<b>保健所職員研修</b>	保健所におけるHIV検査・相談に関する専門的な最新の知識を提供することにより、保健所職員等の資質の向上を図り、保健所のエイズ対策事業の充実を図る  <b>【対象】</b> 都・区・八王子市・町田市等の保健所職員（医師・保健師・事務職等）、HIV検査委託実施機関の関係者 ※HIV陽性者の長期療養への支援・・・福祉事務所、障害福祉主管課・高齢福祉主管課職員、特別区及び区市町村保健センター職員、地域包括支援センター職員	令和元年6月25日 <HIV 性感染症の最新知識と検査> ① 東京都のエイズ対策の現状と課題 講師：東京都福祉保健局健康安全部エイズ・新興感染症担当課長 根岸 潤 ② エイズ 性感染症の病態と治療 講師：東京都立北療育医療センター 院長 味澤 篤 氏 ③ HIV 性感染症の検査 講師：東京都健康安全研究センター ウイルス研究科 長島 真美 氏 病原細菌研究科 三宅 啓文 氏	44名
	<b>【対象】</b> 都・区・八王子市・町田市等の保健所職員（医師・保健師・事務職等）、HIV検査委託実施機関の関係者 ※HIV陽性者の長期療養への支援・・・福祉事務所、障害福祉主管課・高齢福祉主管課職員、特別区及び区市町村保健センター職員、地域包括支援センター職員	令和元年7月19日 <セクシャルマイノリティとHIV検査・相談の実際> ① 手記リーディング、全体・グループワーク 進行等：コミュニティセンターakta センター長 荒木 順子 氏 ② セクシュアリティの理解とセクシュアルヘルス ～見えないマイノリティ～ 講師：特定非営利活動法人ぶれいす東京 理事 池上 千寿子 氏 ③ HIV検査の最新事情～HIV/エイズ対策における検査の重要性～ 講師：特定非営利活動法人akta 理事長 岩橋 恒太 氏 ④ 報告 療養者支援の実例「新宿区」の取組」 講師：新宿区保健予防課 鈴木 裕子 氏 ⑤ HIV陽性者の生活、HIV検査でのインテーク（模擬対応体験） 講師：特定非営利活動法人ぶれいす東京代表 生島 嗣 氏 ⑥ 現場で使えるリソース紹介 講師：コミュニティセンターakta センター長 荒木 順子 氏	18名
	<b>※令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により中止</b>	令和2年2月26日 <HIV検査における外国人対応～HIV受検者に見るニーズと課題、情報提供の工夫～> ① HIV診療における外国人対応 ② 検査における外国人対応の実例 ③ 受検外国人の社会的背景 ④ ロールプレイ HIV検査場面にて」	新型コロナウイルス感染症の影響により中止